

《専門教育科目 専門基礎科目》

科目名	保育の心理学				
担当者氏名	山崎 徳子				
授業方法	講義	単位・必選	2・選択	開講年次・開講期	1年・秋期
ディプロマポリシーに基づいて重点的に身につける能力	<input type="radio"/> 専門基礎-2 豊かな人間性の醸成 <input type="radio"/> 専門基礎-3 コミュニケーション能力の向上 <input checked="" type="radio"/> 専門基礎-4 発達の深い理解 <input type="radio"/> 専門基礎-5 指導・保育の専門性				

《授業の概要》

子どもの「発達」を関係性から読み解き、その理論を検討することを、保育や教育の現場の問題と結びつけて行う。

また、ジェンダー、発達障害や、親の子育て支援など、広い意味での子どもを取りまく環境について考え、私たちが生きていく現代とはどのような時代なのか理解する。

《授業の到達目標》

ヒトの「生涯発達」を現代日本の環境や、人と人との関係性から理解する。

《成績評価の方法》

- | | |
|-------------------|-----|
| (1) 平常点（授業態度など） | 30% |
| (2) 授業の内容に即したレポート | 20% |
| (3) 定期試験 | 50% |

《テキスト》

なし。適宜資料を配付する。

《参考図書》

参考書：岡本夏木、浜田寿美男 1995「発達心理学入門」岩波書店
 鯨岡峻、鯨岡和子 2004「よくわかる保育心理学」ミネルヴァ書房

《授業時間外学習》

- ・日頃、新聞、その他メディアの報道などから、子どもの問題に関心を持つ。
- ・出された課題について仕上げて提出する。
- ・授業後の実習やボランティア活動などの場で、関連した事例に出会ったとき、より深く理解する。

《備考（教員経験の有無）》

《授業計画》

週	テーマ	学習内容
1	1	イントロダクション
2	2	「子どもの発見」から現代まで
3	3	子どもの世界の拡がり：乳幼児期
4	4	依存－愛着－自立：養育者との関係と自分
5	5	子どもを育てる二つの目標
6	6	遺伝と環境：発達と教育の関係
7	7	学ぶことと考えること：ことばの発達
8	8	やる気を育てる：動機づけ
9	9	保育・学校の中のジェンダー
10	10	保育・学校の中の障害児Ⅰ 自閉症を中心に
11	11	保育・学校の中の障害児Ⅱ “軽度”と呼ばれる子どもたち
12	12	児童虐待
13	13	子育て支援のあり方
14	14	震災を忘れない
15	15	まとめ